

幼児だより5月号

新しいお友だちに出会ったり、新しい環境になったりとドキドキがいっぱいだった4月。
らっこさん(年少児)は環境が大きく変わったので戸惑う姿が見られましたが、今ではすっかり生活の流れを覚えて楽しく過ごせています。
いるかさん(年中児)、くじらさん(年長児)は1つ大きくなったことが嬉しくてはりきってお手伝いをしてくれたり、年下のお友だちを気にかけてお世話をしてくれることもあり、保育士はとっても助かっています！ありがとう！♡
新入児さんたちも各グループの生活に慣れてきているいろんな遊びを楽しんでいます！



今年は開花が少し遅めだった桜。
そのおかげでお花見散歩に 2 回行くことが出来ました！
手作りのお散歩バッグを持って行き、そこに花びらをたくさん拾っていましたよ！
花ではなく砂利を詰め込んでいる子もいました。
花より石ころですね(笑)



4月12日にイースター礼拝がありました。
お礼拝の中でイエスさまが復活された話を聞いた後に室内でタマゴ探しを楽しみました。
見つかると「あったー！」と嬉しそうな声がしてましたよ。
大事にしようと力を込めたのか、はたまた落としてしまったのか、バキバキになったタマゴを持って帰る子もいましたね(笑)おいしかったかな？



動きをよく見て…

暖かくなり、草花が綺麗に咲いた隣の公園にモンシロチョウがやってくるようになりました。サッカー大好き少年のSくんもこれには心が躍ったようで虫あみ片手に走り回る日々。でもなかなか捕まえられません…。

そして今日もモンシロチョウがやってきました。

Sくんは見つけるなり虫あみを持って追いかけます。他の子もそれに続きます。



みんなで虫あみを振り回すも、モンシロチョウは高いところをヒラヒラ飛び回ります。そこでSくんからこんな発言が、
「みんな！虫あみおろして！チョウチョおいてくんの待とう！」

Sくんの言う通り、みんなは虫あみを下してチョウチョが下へくるのをジーと待ちます。そして…。



花の近くに寄ってきたチョウチョが移動する瞬間を狙ってゲット！！
動きをよく見てタイミングを待ったSくんお見事でした。
良い作戦でしたね。



モンシロチョウを捕まえられて嬉しそうなSくん。
「みせてみせて」と年下の友だちがやってくると自慢気に見せていました。
この一連の流れに保育士は特に助言をしていません。
Sくん自身が、どうすればチョウチョを捕まえられるかと考えて行動した結果です。
チョウチョが怖がらないように虫あみを下すという判断も素晴らしいものでした。この経験を活かして今後も虫取りを楽しみ、虫取り名人になるかもしれませんね！

なんで真似するの？だって真似したいんだもん！



年長の Y ちゃんが紙で何かを作っています。Y ちゃんは作るのがとても得意です。今日も何かを思いついて紙を細く長くしています。それをみている H ちゃん。H ちゃんは、幼児クラスに進級し、だいが慣れてきました。Y ちゃんのしていることに興味を持った様子です。同じように紙を持ってきました。紙の手前側をくるくると巻き始めました。



わたしも作るぞ！！

と、作り始めたのですが…細く巻くことが出来ません。



Y ちゃんに H ちゃんが困っていることを伝えると、「やってあげようか？」と話しかけ同じものを作り始めました。



Y ちゃんが紙を細く巻いていく様子をじーっと見ている H ちゃん。



あっという間に完成！！出来ると「どうぞ」といって手渡してくれました。

4月から進級したばかりで、こども同士のつながりはまだまだこれからです。ごちなさもあります。手伝ってあげたくてもううまく言えない年上のこどもたち、手伝ってほしいけれど、なんて言えばいいのかな、どうしたらいいのかなと困っている年下のこどもたち。今回は保育士が少しだけ橋渡しをしましたが、これから一緒に過ごす中で年齢の違う友だちとも上手く接することができるようになる事でしょう。助け合う事が自然とできるそんな優くて温かいグループになってほしいなあと考えた場面でした。

くじらぐみになったら・・・



くじらぐみになると、『保育園で一番大きいクラス』という意識をこどもたちは持つようで、突然、3月までと違った姿を見せてくれます。その姿に私たちは本当に驚きます。

見やすいような向きで絵本を読んであげています。



Hちゃんがリードしてお姫様ごっこをしています。何役だろう？

こどもたちの成長は色々なところで感じますが、昨日まではいるかさん（年中）だったお友だちが、4月に入った途端、年下のお友だちの面倒を見たり、一緒に遊んだり、わからないことを教えてあげたりする姿がびっくりするくらい増えます。今までのくじらさんが卒園したから、私たちが一番大きいクラスなんだ！しっかりしなきゃ！！と自然に感じているのでしょうか。また、今までのお姉さん、お兄さんがやっていたこと、してもらったこと経験からそういう姿になっているのだとも思います。私たちの保育園は異年齢保育をしています。横の年齢で過ごすより、色々な年齢のこどもたちが一緒に過ごす（お家みたいに）ことで、小さい子への関わり方、年上児への関わり方、色々な性格を持った子との関わり方は非常に大事ですし、メリットがたくさんあるようです。

生き物を想う気持ち♡



春になり、たくさんの虫が「こんにちは」とみんなに会いに来てくれています。こどもたちは、そんな虫たちを見つけては、喜び、つかまえては虫かごに入れて観察しています。ある日、ダンゴムシを見つけたのですが、力を入れすぎたのか、落としてしまい踏んづけてしまったのか、ダンゴムシの身に悲しいことが起きてしまいました。すると・・・

お墓づくり



完成



友だちに説明中



カッコいいぞ！！



ダンゴムシをかわいそうに思ったUくんは、お墓づくりを始めました。「ここは天国やねん。ダンゴムシの。」「ちゃんと泥も入れたから天国にいけるわ。」（ダンゴムシは泥んこの場所が大好きだということを知っていたのでこういう発言が出たのでしょう）「本当は飼ってあげたかったんやけどな。」色々な感情が言葉にも出てきていて生き物への愛情を感じました。見に来たお友だちにも説明して、自分の思いを伝えていました。小さな命を大切に思う行動と感情と言葉と、カッコいい姿が見れました。